

次のA～Fの記述について、最も適切なものを、それぞれの①②③④からひとつ選びその番号をマークしなさい。

A 高齢者が視作業をする際の照明について

- ① まぶしさを感じることもあるので、必要以上に明るくする必要はない。
- ② 場所や作業内容によって、明るさを検討する必要はない。
- ③ 読書などの視作業では、若年者の10倍程度の明るさにするのがよい。
- ④ より明るくするとグレアが生じるので、通常よりも見えやすくなる。

B 緑内障について

- ① 視野の中心が見えにくくなる病気である。
- ② 日本人の40歳以上の5%が発症するといわれている。
- ③ 症状が進むと物が曲がったりゆがんだりして見える。
- ④ 発症率は80歳代で100%にも及ぶといわれている。

C 下に示した図の文字を読みやすくするための、セパレーションカラーとして最も適切な色



D 下に示した図の表示を色のユニバーサルデザインの観点から修正する方法



- ① 文字の色の明度を下げる。
- ② 文字のサイズを小さくする。
- ③ 文字の色を橙寄りにする。
- ④ 文字を細い明朝体にする。

E 誘目性について

- ① 背景色に関わらず、いつも赤が最も高い。
- ② 暖色より寒色の方が高い。
- ③ 有彩色より無彩色の方が高い。
- ④ 黒背景では黄が注意を引きやすい色になる。

F 明視性について

- ① 背景色と対象の色との明度差に影響される。
- ② 文字や数字の読みやすさのことである。
- ③ 注意を向けていない対象の発見されやすさのことである。
- ④ 特定の状態や意味を表したり、伝えたりする、色のはたらきのことをいう。